

公明党 研修報告書

令和元年12月19日

ふじみ野市議会
議長 小林 憲 人 様

ふじみ野市議会 公明党
代表 伊藤 美枝子

ふじみ野市議会公明党所属議員4名は、令和元年11月20日（水）に越谷市中央市民会館において全国市議会議長会主催の令和元年度2040未来ビジョン出前セミナーin越谷「ソサエティ5.0時代の雇用と働き方の変容」について、研修を実施したので報告する。

1 出席議員

伊 藤 美枝子
島 田 和 泉
川 畑 京 子
鈴 木 美 恵

2 研修先及び研修項目

越谷市中央市民会館（埼玉県越谷市越谷四丁目1番1号）
令和元年11月20日（水）午後1時～午後15時40分
「ソサエティ5.0時代の雇用と働き方の変容」

3 研修内容について

講師の方は、駒澤大学経済学部の准教授で井上智洋さんでした。

井上さんは、大学時代にコンピュータサイエンスを学ばれた後IT企業に就職され、更に大学院に進まれて経済学（専門分野はマクロ経済学）を学ばれたことから経済学者の立場からAI（人工知能）について語られました。主な著書に「人工知能と経済の未来」を出版されています。

始めに「AIの現状」について、さまざまな活用事例などを基に身近なところで利用されている事やAIの特徴としてディープラーニングが応用され、自然言語処理、音声認識、画像認識などに活用され、今後の発展に大いに期待されていることなどを語られました。

続いて、IoT（Internet of Things）の進化や広がりが新たなビジネスを生み出していることを述べられ、機械同志の協調動作やコネクテッドカー（イン

ターネットに繋がった車)などの開発が進むことで生活の利便性が向上に寄与している現状について述べられました。

その後は、産業革命の経緯について第一次から第四次産業革命への変遷と併せて技術革新に伴う生産性の向上や産業形態の違いなどを示され、世界各国ごとに影響や効果についての例題を示されました。

ソサエティ 5.0 時代の到来を迎え、さまざまな技術が代替される可能性があり職業や雇用の消滅や減少などが想定され、I T (Information Technology) の進化による失業や格差の拡大を予測する近年の労働市場傾向や所得傾向などについてグラフなどを用いて説明されました。

A I や I o T の進化が進むことで人に残される仕事や所得の変化から経済の将来性を予測され対抗措置として B I (ベーシックインカム) の必要性を述べられ公演を結ばれました。

4 研修の感想について

ソサエティ 5.0 時代をどの様にイメージしていくのかで将来に対する期待や不安は多様化するものと捉えました。

情報技術の進化は止まることなく進んでいくのであろうと想定される点については同感しており、現在の社会や産業への影響力も大きなものであることも承知するところですが、多様な国々に多様な文化や価値観が息づき残るであろうと思います。日本には、日本でしかない文化や生産技術があり自動化や情報化に適さないものがあるのではないかと改めて感じました。

最終的な方策として B I の有効性を語られていましたが、それも道の 1 つかも知れません。しかしながら異なる可能性にも着目しつつ広い見識を学ぶことで本市における最適解を見出す努力を継続することが大切であると考えました。

将来的には人が行える行為のすべてが自動化される世界が到来する可能性も否定はできませんが、議会人としては追い求める世界観や経済状況をイメージしつつ、現行の制度や事業が現在の生活を維持し、求める未来像へ進むための改革や改善を思考し実現し続けることの重要性が再認識できた講演でした。